

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法演習 I - 1		必修	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
高木 大輔 他	D315	d.takagi	火曜日 10:30~12:10		
授業の目的・概要	基礎医学知識(骨解剖)は、理学療法評価や治療を実施するにあたり必要不可欠である。そこで理学療法演習 I-1では、理学療法評価と治療に必要な骨の名称・部位を同時双方型授業などで理解し、また骨の触診技術を習得することを目的とする。まず理学療法評価ならびに治療に必要な骨の名称・部位、触診方法を同時双方型授業などで説明する。その後筋の名称、部位、触診方法も関連付けて解説し、骨の名称・部位、触診方法の習得を最終的に面接授業で促す。				
学習上の助言	授業内容に関する質問は、授業中及びオフィスアワーの時間に受け付けている。積極的に質問して疑問を解決し、理解を深めて欲しい。				
教科書	トートラ 人体の構造と機能 第4版/編訳:桑木共之、黒澤美枝子、高橋研一、細谷安彦/丸善株式会社 運動療法のための機能解剖学的触診技術 下肢・体幹 改訂第2版/監:青木隆明/著:林典雄/メジカルビュー/2012 運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢 改訂第2版/監:青木隆明/著:林典雄/メジカルビュー/2011 [3冊指定、後期の理学療法演習 I-2でも使用]				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	骨解剖に関する知識を習得し、骨の名称ならびに位置関係を説明できる。			PT (3)	
②	骨の触診技術を習得し、触診した骨の名称を説明できる。			PT (3)	
③					
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	「頭部・体幹(頭蓋骨、胸骨)①」 骨・筋の名称と触診を学習する。「担当:高木」※1 フィードバック:課題の返却やコメント等で実施	印刷教材等による授業	骨解剖 頭部・胸骨 図問題ならびに触診練習	1	
2	「頭部・体幹(脊椎)①」 骨・筋の名称と触診を学習する。「担当:高木」※1 フィードバック:課題の返却やコメント等で実施	印刷教材等による授業	骨解剖 脊椎 図問題ならびに触診練習	1	
3	「頭部・体幹(脊椎)①」 骨・筋の名称と触診を学習する。「担当:高木」※1 フィードバック:課題の返却やコメント等で実施	印刷教材等による授業	筋解剖 体幹筋 図問題ならびに触診練習	1	
4	「上肢(鎖骨、肩甲骨、上腕骨)②」 骨・筋の名称と触診を学習する。「担当:高木」※1 フィードバック:課題の返却やコメント等で実施	印刷教材等による授業	骨解剖 鎖骨・肩甲骨 図問題ならびに触診練習	1	
5	「上肢(鎖骨、肩甲骨、上腕骨)②」 骨・筋の名称と触診を学習する。「担当:高木」※1 フィードバック:課題の返却やコメント等で実施	印刷教材等による授業	筋解剖 上肢筋 図問題ならびに触診練習	1	
6	「上肢(橈骨、尺骨、手の骨)③」 骨・筋の名称と触診を学習する。「担当:高木」※1 フィードバック:課題の返却やコメント等で実施	印刷教材等による授業	骨解剖 前腕・手指 図問題ならびに触診練習	1	
7	「上肢(橈骨、尺骨、手の骨)③」 骨・筋の名称と触診を学習する。「担当:高木」※1 フィードバック:課題の返却やコメント等で実施	印刷教材等による授業	筋解剖 体幹筋・上肢筋 図問題ならびに触診練習	1	
8	「下肢(骨盤、大腿骨)④」 骨・筋の名称と触診を学習する。「担当:高木」※1	同時双方型授業	骨解剖 骨盤・大腿骨 図問題ならびに触診練習	1	
9	「下肢(骨盤、大腿骨)④」 骨・筋の名称と触診を学習する。「担当:高木」※1	同時双方型授業	筋解剖 下肢筋 図問題ならびに触診練習	1	
10	「下肢(膝蓋骨、脛骨、腓骨、足の骨)⑤」 骨の名称と触診を学習する。「担当:高木」※1	同時双方型授業	骨解剖 膝蓋骨、脛骨、腓骨、足の骨 図問題と触診練習	1	
11	「下肢(膝蓋骨、脛骨、腓骨、足の骨)⑤」 骨・筋の名称と触診を学習する。「担当:高木」※1	同時双方型授業	筋解剖 下肢筋 図問題ならびに触診練習	1	
12	「頭部・体幹・上肢・下肢の関節」 関節の名称と分類、角運動を学習する。「担当:高木」※1	同時双方型授業	関節の名称と分類、角運動の暗記	1	

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科】

13	「頭部・体幹」 骨と筋の触診を復習する。「担当:その他の教員」※2	面接授業 (実技)	頭部・体幹の骨と筋の触診復習	1			
14	「上肢」 骨と筋の触診を復習する。「担当:その他の教員」※2	面接授業 (実技)	上肢の骨と筋の触診復習	1			
15	「下肢」 骨と筋の触診を復習する。「担当:その他の教員」※2	面接授業 (実技)	下肢の骨と筋の触診復習	1			
試	定期試験 (達成度評価・評価のポイント参照)						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価をする。試験は授業中に使用した教科書、配布資料などの内容に基づいて出題し、理解度を問う(筆記試験、100%)。		解答等を提示し、解説を行う。		
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>担当教員：◎高木 大輔、三科 貴博、粕山 達也、関口 賢人、池上 諒、遠藤 悠介、駒形 純也、玉木 徹、大塚 篤也、坂本 祐太、高村 浩二 他 ※2 担当教員ごとに演習活動を行う</p> <p>教員の実務経験：理学療法士として7年の臨床経験あり。</p> <p>実践的授業の内容：担当した症例を通して学んだ触診の方法などを提示する。</p> <p>感染対策：大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を厳守すること。問題がある場合は面接授業の参加は認めない。</p> <p>遠隔授業：teams などを使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。</p> <p>今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラパスの変更がある可能性がある。</p>							